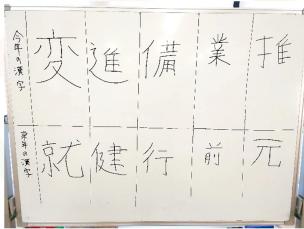


東松山事業所

企業見学会を開催しました！

東松山第2事業課 木村 美智子



8月～11月は、就労移行支援事業および自立訓練事業と合同で企業見学会を開催しました。10社の企業にご協力をいただき、26名の方が参加しました。

精密機器や自動車部品などの製造、食品の製造、梱包材の製造、化粧品の充填梱包、清掃業務、事務補助業務など、さまざまな業種、業務内容を見学させていただきました。

どのような会社なのか、自分は何をポイントに見学をするか、通勤経路の検索、質問することなど、見学前に調べました。会社のホームページなどを見て、皆さん緊張しながらも、真剣に準備を行っていました。

見学後は振り返りを行い、見学した内容を他の利用者さんと共有します。見たこと、聞いたこと、感じたことを自分の言葉にまとめて、一生懸命発表していました。普段、見ることができない会社の様子を、皆さん真剣に聞き、たくさん質問をされていました。

また、自立訓練事業の利用者さんには、『今年の漢字一文字、来年の漢字一文字』を考えていただきました。

今年は自立訓練の利用に一步踏み出すことができ、来年は就職に向けた気持ちを表していました。企業見学に参加したり、見学に行かれた方の話を聞くことで、とても良い刺激を受けたようです。

来年度も、企業見学会を行っていきたいと思います。ご協力いただいた企業の皆さま、関係機関の皆さまありがとうございました。

浦和事業所

浦和事業課 前田 美喜子



現在3人の訪問型ジョブコーチを配置しており、日々悩みながらジョブコーチ支援をしている傍ら、当法人の代表理事が副理事長を務める、ジョブコーチ・ネットワークの活動について、事務局機能も担っています。11月～12月に第72期JC-NET養成研修を、基礎課程2日間をオンライン研修、実践課程3日間(福岡開催49名、大阪開催48名、東京開催78名)を現地開催にて終了いたしました。

東京養成研修の実践課程では、当事業所の戸倉スタッフが「ケースから学ぶジョブコーチ支援の実際(訪問型)」の事例研究発表をしました。実際難しい事例だったのですが、受講生の皆さんもしっかり考えててくれて、とてもよい講義になりました。

2月には73期JC-NET養成を山口・東京で開催いたします。興味のある方はホームページのご確認をよろしくお願ひいたします。

久喜事業所

就労アセスメントを実施しました！

久喜事業所では、10～11月に5名の方の就労アセスメントを実施しました。久喜事業所で行っている就労アセスメントは、国の専門機関が開発した「ワークサンプル幕張版」を中心に活用し、障がいのある方ご自身が就職活動するにあたり、どんな仕事が自分に合っているのかを整理するために提供している、法人独自の事業になります。

就労アセスメントでは、作業精度や作業速度などのワークスキルと、作業に取り組む姿勢や社会性などのヒューマンスキルを、一定期間こちらの事業所に通っていただき整理します。また、就労アセスメントの結果をフィードバックする際には、就労アセスメントで取りまとめた結果をご自分がどう受け止められ、今後の就職活動にどの様に活用していかれると良いのか、複数の職員で検討し、お伝えしています。

この就労アセスメントの機会提供において、私たち職員は、ご本人にとって価値のある時間として提供できたのかを常に問い合わせながら、今後も実施していきたいと思います。

北浦和事業課 松本 仁



密着！職員のとある一日

今回は当法人が受託している埼玉県障害者雇用総合サポートセンター障害者職場定着支援事業の就労支援機関人材育成業務において、アセスメンターとして配置されている三浦スタッフに密着しました。

アセスメンターは就労アセスメント支援において幕張版ワークサンプル等を活用し、支援対象者の作業スキルや対人スキル、課題等の把握・整理を行い、支援対象者ご本人や支援担当者にフィードバックする業務を担っています。

三浦スタッフの仕事の様子を1日取材して、仕事をする上で心掛けていることについてインタビューしました。

タイムスケジュール

8:30～ 出勤、朝礼

今日の予定や業務の申し送りをします。



8:35～9:30 アセスメント準備

アセスメントに必要な書類や道具を準備します。

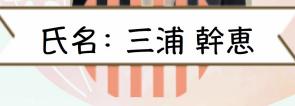


9:30～12:00 アセスメント

この日の午前はピッキングを行います。注文書に従って、品物が入った棚から指定された品物を選び取る作業です。どのように探しているのか、体の使い方等を近くで観察します。



氏名：三浦 幹恵



働きたい人の助けになること



休日の過ごし方

愛犬と公園に出かける

12:00～ 昼食

昼食を摂ります。
午前のアセスメントの進捗によって時間は変動します。



13:00～15:00 アセスメント

午後は物品請求書作成を行います。品名カードを元にカタログにある商品を調べ、請求書を作成していく作業です。どんな工夫をしたら正確に早くできるかをご本人に考えてもらったり、方法を助言したうえで変化は見られるのか等を観察します。
対象者によって体力や体調が異なるので、それぞれに対応して休憩時間も取ります。



15:00 アセスメント終了

今日の作業の振り返りを終え、事務所に戻ります。
アセスメント中の架電など、必要な情報があれば共有します。



15:30～16:30 インテーク面談

アドバイザー又はサブアドバイザーに同席し、アセスメントを希望する方の面談に同席します。
まずアドバイザーが対象者にアセスメントについて説明し、意思確認を行います。その後、アセスメンターがあらかじめ支援機関から提出頂いた情報提供シートを元に、ご本人について聞き取りを行います。

